

CASBEE[®] - 建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2014(v.1.23)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)小野原東店舗 新築工事	階数	地上2F
建設地	箕面市小野原東6丁目2-1	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	490 人
気候区分	6地域	年間使用時間	5,840 時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年3月 予定	評価の実施日	2015年10月1日
敷地面積	4,479 m ²	作成者	三陽建設(株)一級建築士事務所 藤
建築面積	2,339 m ²	確認日	2015年10月2日
延床面積	3,249 m ²	確認者	三陽建設(株)一級建築士事務所 藤不智央

本図を右クリックし、「図の変更」を選択していただくことで、外観図等を貼り付けることができます。

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

環境品質 G (0-100) vs 環境負荷 L (0-100)

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (184 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み: 93% (170 kg-CO₂/年・m²)

③上記②以外の: 93% (170 kg-CO₂/年・m²)

④上記+: 93% (170 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安を示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5

Q1 室内環境: 3

Q3 室外環境(敷地内): 2

LR1 エネルギー: 3

LR2 資源・マテリアル: 2

LR3 敷地外環境: 3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR のスコア = 2.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

3 設計上の配慮事項		その他
総合 建物内外に対して、条例・基準法等の必要条件を満足するようにして計画した。		注) 上記の6つのカテゴリ以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
Q1 室内環境 夏期26℃、冬期22℃を確保する設備容量とし、ビル用マルチエアコンによるゾーン別(店舗、作業室、後方諸室)による個別空調が可能である。	Q2 サービス性能 機能及び信頼性を考慮した維持管理が行える。	Q3 室外環境(敷地内) 箕面市条例の緑化面積を満足し、出来る限り敷地全体にわたっての緑化に努めた。また、設備スペースを2Fにも設置し、周囲環境及び景観への配慮を行った。
LR1 エネルギー 省エネルギー法において性能基準を満たすように配慮した。また、各種エネルギーのモニタリングを行い、エネルギーの効率的運用に配慮した。	LR2 資源・マテリアル 部材の再利用可能性向上への取組として、躯体と仕上げ材が容易に分別可能となっており、解体・改修の際に、容易にそれぞれを取り外す事ができるように配慮した。	LR3 敷地外環境 地域環境への配慮及び地域インフラへの低減。燃焼機器を使用せず、屋外空間に対して大気汚染物質を発生しないように配慮した。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H27-0072

Osakafu-新築・既存 2015V1.02

【建物概要】		建物名称	(仮称)小野原東店舗 新築工事					
		建設地	箕面市小野原東6丁目2-1					
		用途/区分	物販店					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B-		
	CO2削減					3		
	省エネ対策					3		
	みどり・ヒート アイランド対策					2		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	
エネルギー消費量の報告							報告しない	
【評価項目】								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.2	3	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価			建物全体	3.0	3	
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				3.0		
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0		
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				3.0		
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価				3.0		
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価				2.2		
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	2	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				2.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				2.0		
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
		無し						
特に配慮した事項								